

# 石岡いいね！

いにしえの先人の想いに心を馳せ

平成 30 年度石岡市地域おこし協力隊文化財利活用担当 田口裕哲・田口園美

## 地域おこし協力隊

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行いながら、そこでの定住・定着を図ることを目指します。そのことで、意欲ある都市住民のニーズに応えるとともに、地域力の維持・強化を図っていくことを目的として、2009年度より総務省により制度化された事業です。

都市地域から人口減少地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱します。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」に従事します。活動期間は概ね1年以上3年以下です。

## 石岡市地域おこし協力隊文化財利活用担当

2018年度は、6人の地域おこし協力隊が活動していました。隊員は5つの分野（中心市街地活性化・観光交流・農林業・移住定住・文化財利活用）をそれぞれに担当し課題に取り組むと同時に、連携を取って分野を横断した活動を展開していました。

その中で私たち2人は、教育委員会文化振興課に籍を置き、石岡市の歴史と文化を調査研究し、素人（プラス転入者）の立場から、石岡市の魅力の掘り起こしとPRに取り組みました。

市内の文化財、史跡や寺社などをわかり易く解説したガイドブック「石岡の歴史と文化」を手に、掲載されている場所と活動中に頂いた情報をもとに、百五十か所近くに足を運びました。

延べ1500枚の写真と、自分たちの目と鼻と耳、そして、心で感じたことを研究成果としてまとめることができました。それらは、日々フェースブックで発信するとともに、書籍と映像（DVD）という形にもなり、1か月に及ぶ「ゆりの郷」での発表機会も得ることが出来ました。

## 調査の概要

- 1 調査を始めるにあたって  
まず、石岡を知ることから始まる！！  
石岡の道を知る！  
石岡の土地を知る！  
石岡の人を知る！  
石岡の動きを知る！  
石岡の歴史を知る！  
石岡の歴史遺産を知る！

## 2 調査の目的

- (1) 石岡を知ること
- (2) 石岡の歴史と文化に触れること
- (3) 地域とのつながりを広げること
- (4) 文化財利活用の糸口を探ること

## 3 調査方法

- (1) 調査は4つのアクションで！
  - アクション1 知る
  - アクション2 行く
  - アクション3 感じる・思う
  - アクション4 整理

## (2) 調査の原則は現地に行く！

そして、  
見る・聞く・触れる・感じる・思う！

## 4 調査計画

95のタイトルを28のグループに分け、3ヶ月の時間をかけて、現地に足を運ぶ計画を立てました。

## 5 調査結果の活用

活用に向けた整理

- ・資料（写真等）の整理
  - ・感想の整理  
(移住者らしく、素人らしく、自分らしく)
  - ・伝え方の整理
- (1) 石岡をアピールする材料とする
  - (2) 石岡の学びの資料とする
  - (3) 地域おこし活動の検討材料とする

## 6 調査から見えてきたもの

### (1) アピールできる魅力

- 「いいね」がいっぱいの石岡！！
- 自然が豊かな石岡！
- 景色がすてきな石岡！
- 古墳の多い石岡！
- 野菜が安全・おいしい石岡！
- モダンな歴史の石岡！
- 深い歴史の石岡！

#### ① 豊かな自然

- ・球状花崗岩
- ・常陸風土記の丘
- ・加波山神社
- ・吉生の砦

#### ② 心に染み入る景観

- ・八木の干拓
- ・朝日里山学校
- ・板敷山大覚寺
- ・鳴滝

#### ③ 人の生活が見える

- ・旧石岡市内看板建築
- ・たばこ神社
- ・足尾神社
- ・常陸風土記の丘

#### ④ その時代に生きた人物の思いが伝わる

- ・佐久良東雄旧宅
- ・常春寺
- ・泰寧寺
- ・高浜神社

#### ⑤ 歴史的価値が高い

- ・常陸国分尼寺跡
- ・舟塚山古墳
- ・常陸総社宮
- ・常陸国分寺跡

### (2) 利活用に向けての課題

#### ① 歴史遺産の維持・管理

- ・地域の人口の減少
- ・地域住民の高齢化
- ・生活スタイルの変化
- ・信仰に対する意識の変化
- ・価値観の多様化

歴史遺産

離れ

#### ② 活用の物足りなさ

- アピール不足
- ・呼び込む手だての弱さ
- 情報発信→窓口→案内表示→説明表示

企画不足

- ・ねらいを持つ（しぶる）
- ・規模（大小）
- ・継続↔単発
- ・横のつながり

工夫が

必要

#### ③ 歴史遺産のニーズとのずれ

現代人が求めているもの

#### ・映像美（インスタグラム）

#### ・話題性

#### ・収集

#### ④ 市民の思い

♡石岡市をもっと知りたい！

・歴史や文化遺産に興味がある

♡石岡市を生き生きとさせたい！

・地域おこしに興味がある

→ 何かをやりたい

何かをやっている

♡今石岡市が好きだ！

・今石岡が良い

→ 今まがいい

・観光客のマナーの悪さが困る

→ 今までよい

### (3) 課題解決への糸口

期待する活用や活動

・花と歴史遺産のマッチング

・世間遺産で意識の高揚

・歴史の中の物語をつなげる楽しさ

石岡、いいね！！

調査を実施する前は「何かしなくては！」と、活動することに意識を置いていました。実施後の今は、「何か」の内容に意識が向くようになりました。実現の可能性、効果の有無、継続性等を考えるようになった今、以前に増して石岡への興味が大きくなっています。

すべてが新鮮で衝撃的だった石岡市地域おこし協力隊としての1年でした。日々の活動を通して石岡の良さや課題が見えた今では、以前とは違った見方で石岡を考えるようになってきました。それは、他市町村との比較をするようになってきたことです。比較がすべて良いわけではないですが、比較から良さや改善点が浮かび上がることも事実です。

今後はまず、「石岡の歴史と文化」を点で見るのはなく、歴史のステージで理解を深めていきたいと考えています。そして、その後はそのステージを線でつなげるような見方をして、石岡のヒストリーがストーリーとして繋がるようになれば、一段上の「石岡いいね！」が見えてくると考えています。